



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』

1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』

1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会

7月4日／第518回例会

回卓 話

「就任のご挨拶」

会長 武下 朗

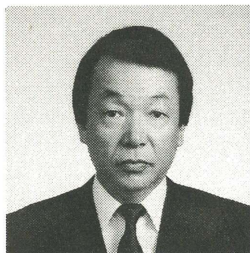
副会長 山下 忠治

幹事 渡部 一元

「就任のご挨拶」

「ロータリーの原点」に立ち 新鮮な眼でクラブライフを

会長 武下 朗



クラブは12年目を迎えました。創立以来7つもの大きな行事を終え特に、前年度はIM、10周年とクラブの総力を結集したあとだけに、空虚感はぬぐいきれないものがあります。本年度は目を内に向けクラブ活性化の年にしたいと思います。もともとクラブはRIの下部機構ではなく独立した組織であり、クラブがロータリーの基礎である以上なおさらと思います。

そこで本年度は先達の築いた11年間の高い目標と実績の上に立ち、次のスローガン「ロータリーの原点に立ち、新鮮な目でクラブライフを」と決めていただきました。

スローガンの前提条件として、「ロータリー綱領」を基本とした上で、クラブ活動が新鮮で、いきいきとしたアイデアに満ちたものにならないか、そのためには、ロータリー情報を柱としてプログ

ラム、四大奉仕、フォーラムにとその輪を広げクラブライフをエンジョイしたいものです。

情報を勉強したからといって会員の人格、個性、思想を束縛するものではありません。その受けとり方はあなたの自由です。自由であってこそ、はじめてクラブライフに新しいアイデアが生まれ、活性化につながってゆくと思います。ロータリーにはロータリアンといった型にはまった偶像はありません。

あなたは事業および専門職務に携わる指導者です。その指導者としての寛容な人格が、ロータリアンかもしれません。

本年度当クラブとしては、ロータリー情報を勉強し、本来あるべきロータリーの姿を追い求め、新鮮なクラブライフを目標とし、皆様と一緒に歩みたいと思います。どうぞよろしくご指導下さい。



副会長 山下 忠治

副会長とクラブ奉仕委員長を拝命いたしました。

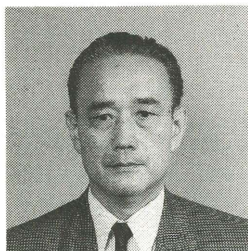
武下会長が提唱されたテーマ「ロータリーの原点に立ち―新鮮な目でクラブライフを―」は奥行のある深い言葉です。私は、このテーマをよく咀嚼し、どのように具現してゆくべきか皆さまのお知恵を拝借しながら考え、行動し、そして皆さまと共に「エンジョイ・ロータリー」に到達できた

らしいなあ、と思っております。

これから1年、副会長、クラブ奉仕委員長としての職責を全うすることができるか、まことに不安ですが、もう既に名幹事との声が高い渡部さんに助けられながら、自分自身のロータリー学習を併せ努力いたす所存ですので会員の皆さまのご叱正とご協力を切にお願い申し上げます。

魅力あるクラブライフを

幹事 渡部 一元



新年度第一回の例会に当たり一言ご挨拶いたします。今まで殆ど何も貢献していない私が武下会長の下幹事という重責を全うするには会員の皆様のご支援をお願いするしかありません。その為にも、新年度に当たり、日頃私が考えている事をお話して皆様のご批判を仰ぎたいと存じます。

私は大学で経営学を教えますが、強い経営組織とは、シンプルで分かりやすく、風通しの良い組織体を云います。ロータリーも同じです。ロータリーを決して難しく、分かりにくいものにしてはいけません。そうでないと気持ちの上で負担を感じさせ、会員の心は次第に離れてしまいます。組織として構成員をうまく乗せる、構成員はその気になる、これが優れた組織を作ることになります。

現代は価値観の多様化の時代であります。様々な団体があり、ロータリーはその一つです。専門

職、ビジネスマンの間で、異業種交流が盛んです。情報を互いに発信し、自らの職業に取り込む。一業種一人のロータリーはその最たるものであります。これほど魅力あるクラブを私は他には知りません。

組織運営に対する信頼感も大切です。皆忙しい体です。12時半に始まって1時半に終わる。この基本動作が出来て会員は初めて安心します。

上記の事柄を実現するために、幹事という皆さんの使い走りとして何をしたらよいか、一つ一つ皆さんから教わりながら一生懸命努めますので一年間どうぞ宜しくお願いいたします。

最後に夏期数週間海外の授業のため留守を致しご迷惑をお掛けします。小さな職業奉仕、国際奉仕としてご理解賜れば幸いです。それ以外は全力を尽くしますのでご寛容のほどお願いいたします。

◎先週報告

6月27日/第517例会

■卓話 「退任のご挨拶」

96~97年度・会長 河原勢自・副会長 保森 登・幹事 荒木昭文

回会長報告①荒川欣也君(職業分類/俳優)が6月27日付けで入会になりました。

①柳澤昭雄君は業務繁忙のために6月末で退会されることになりました。

回慶事披露●お誕生日祝/高橋良士君(6月30日)

●100%出席/村川優君(6年)/小澁雅亮(2年)

回出席報告●会員69名・出席42名、欠席27名(出席規定免除者2名)

ビジター(11名 敬称略)/塩川修治(富士宮)、立木正夫(東京東)、梅岡総治(東京神田)、人見 陽(東京新都心)、辰野克彦、重茂 達、数原英一郎、久保徳全(以上東京西)、逸見和子(東京世田谷中央)、島村明定、渡辺三郎(以上東京南)



順不同・敬称略

6月27日/21件121,000円

多額のご寄付を有難うございます。

島村明定(東京南)/河原勢自/荒木昭文/保森 登/田辺賢三/山川政樹/小澁雅亮/後藤信夫/佐藤定宏/高須康有/宮川弘信/青野信次/金光圭一/大日方真/宮武保義/馬場一廣/渡邊 治/牧野吉郎/新保國彦/相澤成憲/柴本芳郎/小杉修造/村川 優/高橋良士/村山公士/杉山好一郎/宮本正祥/平井逸夫
紙面の都合上、コメントは省略させていただきました。

◎7月行事予定

1日(火) 火曜会

東京全日空ホテル 37F アストラル 17:30~19:15

2日(水) 千代田分区幹事連絡会

帝国ホテル 4F 梅の間 18:00~19:30

4日(金) 新年度初例会

東京全日空ホテル B1 八雲の間 12:30~13:30

7月定例理事会

東京全日空ホテル 1F 孔雀の間 例会后13:40~15:00

8日(火) 地区R情報・R財団セミナー

新高輪プリンスホテル 3F 天平の間

13:00~14:30/R情報セミナー

14:45~17:00/R財団セミナー

11日(金) 地区会員増強委員長会議

新高輪プリンスホテル 国際館バミール 2F 末広

14:00~16:30

16日(水) 地区米山奨学委員長会議

新高輪プリンスホテル 飛鳥 16:00~17:30/会議

白鳳 17:30~19:30/懇親会

25日(金) 第2回クラブ協議会

東京全日空ホテル B1 八雲の間 例会后13:00~15:00

テーマ「今までの増強、これからの増強」

27日(月) 地区会長会

(会場/未定 15:30~19:00)

6月臨時理事会議事録

と き/97年6月27日(金)例会前 11:50~12:15

ところ/東京全日空ホテル 36F シリウス

出席者/河原、青野、四分一、渡部、保森、

山川、大日方、田辺、荒木

(敬称略・順不同)

決議事項

1. 新会員候補者2名の推薦受付を承認。
2. 新会員・荒川欣也君のカウンセラーに佐藤定宏君を指名。

報告事項

1. 地区より地区大会人頭分担金の一部(1,654.8×67名)110,876円、財団文化研修学生補助金34,500円が返戻されました。雑収入で処理致します。

◎新会員歓迎会兼

96~97年度打ち上げ会報告

96年6月27日(金)18:00~お台場のホテル日航東京 3F サンライズテラスにおいて、小杉修造君、金光圭一君、荒川欣也君の3名の歓迎会と打ち上げ会が開かれた。

(出席者会員37名・ご家族16名・ゲスト2名)

◎お知らせ

■ロータリーレート変更/7月1日より\$1=¥117(現行¥119)

■会員役職変更・事業所商号変更・業所所在地変更

- ・伊部和夫君/㈱ジャックス顧問に就任
- ・島田昌雄君/シーアイ化成(株)顧問に就任
- ・柴藤清三郎君/㈱イセトーに商号変更・取締役副会長に就任
- ・二宮利泰君/㈱大和ヘルス社代表取締役会長に就任
- ・高橋良士君/(新赤坂クリニック)

(新)〒106 港区六本木5-5-1 六本木ロアビル 11F TEL.5770-1250 FAX.5770-1255

◎次週予告

7月11日/第519例会

回ビュッフェスタイルのため卓話はありません。

<36F シリウス>

東京新南ロータリークラブ

会長:武下 朗 副会長:山下忠治 幹事:渡部一元

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 真史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士
(編集担当順)